

難病患者さんの就労相談事例

神経・筋疾患

★慣れた仕事に復帰

・病気の発症と同時期に人事異動がありなれない業務にミスが続き上司に病気の詳細を報告し通院などの配慮を受けながら併せて元の業務への異動をねばり強く希望し復帰を実現されました。

＜支援者から一言＞

病気を正しく会社に伝えたこと、慣れない仕事に懸命に取り組む姿勢を見ての判断で、何事も真摯に取り組むことが大切です。

神経・筋疾患

★B型事業所からA型事業所に再就職

・病気が分かってから自己都合で会社を退職し、B型事業所を利用していたが、生活レベルの向上を目指して転職を決意される。苦手な面接を乗り越え次のステップとなるA型事業所に就職できました。

＜支援者から一言＞

できる範囲を自覚し就活することで、早期の就職が可能になりました。就職後は無遅刻無欠勤で頑張っておられます。

免疫系疾患

★希望に沿う勤務時間で就職に

・シフト時間の変更により勤務が不可能となり退職。短時間での仕事を探す中で何が得意かを考え、数社への応募を経て希望に沿う老人ホームの調理の仕事に就職できました。

＜支援者から一言＞

自分を振り返りながら次の仕事を考えることが就職を可能にできた大きな要因です。明るい性格や周囲に溶け込む人柄の要素も高かったと思われます。

消化器系疾患

★障がい乗り越えて就職に

・難病に加え軽い失語症もあるため、電話の応答や対面業務のない仕事を希望され、趣味の料理を活かした仕事に挑戦。面接は緊張されたが自分の思いを伝え、理解してもらい就職することができました。

＜支援者から一言＞

真面目な人柄が、面接官を納得させたものと思われ、言葉の不自由さを乗り越え本人の気持ちが伝わったと思われれます。採用される際の大きな武器となりました。

血液系疾患

★手術に踏み切り就職へ

・就活中での発病で、内定の会社に入社できず、治療・手術を決断し、約1年間の治療を経て就活を再開。就業経験なしのハンディを意欲で乗り越え、数社の面談を経て就職できました。

＜支援者から一言＞

前向きな姿勢と若さが面接の壁を乗り越えるベースとなりました。また、明るさ積極さが大きな成果につながりました。

